

池永幸生

会報 幸友会

第7号

令和7年3月

討議資料



発行者／熊本県議会議員 池永幸生 ☎096(227)8660 FAX096(227)8440 Mail: ikenagajimusyo@gmail.com

ご挨拶

春爛漫の候、皆様にはますます清祥のこととお喜び申し上げます。厳しい冬を越え、春の訪れを感じられる季節となりました。日頃より私の活動に温かい御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

この度は地域の皆様からお寄せいただいたご意見やご要望も踏まえ、昨年に引き続きTSMCの進出に於ける合志、菊陽地区の渋滞解消に向けた道路政策、給排水問題、地域経済の活性化、県政の農業への取り組み、更なる中小企業への支援の拡充などについて取り上げ、議会で議論を重ねました。

昨年の一般質問で取上げた「御代志駅からセミコンテクノパークまでのバス運行」などの渋滞解消策についても、今年2月3日〜28日まで電鉄バスによる朝5便、夕6便の通勤バスの実証実験が実施されました。また387号線の4車線化も早急に進める様強く要望しましたので、須屋高速道沿いの拡幅の設計、測量が進んでおります。

今後も本県並びに合志市の発展を願ひ、皆様の代弁者として全力を尽くして参りますので、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

季節の変わり目、どうぞご自愛ください。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

池永幸生

九州中央自動車道・有明海沿岸道路の建設促進大会

11月18日、木村県知事、坂本・西野両衆議院議員、荒木市長を始め、多くの関係者が参加される中、九州中央自動車道および有明海沿岸道路の建設促進を求める大会が東京にて開催されました。私も県建設常任副委員長として出席。大会終了後には国土交通省を訪れ、要望書の提出などの活動を行いました。

9年前の熊本地震では高速道路が不通となり、国道・県道ともに渋滞が発生し、交通がマヒしたことが記憶に蘇ります。九州中央自動車道や有明海沿岸道路、さらには中九州横断道路の整備は、発生が懸念される南海トラフ地震に備え、人流・物流の確保のうえでも急務であり、加えて日常の交通渋滞の緩和にも大きく貢献するものと考えます。今後もインフラ整備の推進に向けて尽力してまいります。

九州中央自動車道・有明海沿岸道路概要図



主な活動

1月22日大分市で九州三県議員連盟総会に出席、翌23日より建設常任委員会管外視察で四国視察先をバスで廻りました。

四国地方整備局を視察。吉野川砂防事業の説明を受け、翌日は香川県議会訪問、空き家対策事業の施策等のディスカッションを行う。その後新居浜港の概要説明を聞き施設を視察。



下田南バイパス開通式

高速交通ネットワーク整備特別委員会

空港アクセス道路、西回りバイパス、中九州横断道路他、県内の道路の整備等を推進

下通での北朝鮮拉致被害者家族支援街頭署名活動



街頭署名活動



合志市商工会総会での挨拶

10月カンボジアベトナム視察

日本49%・カンボジア51%出資の技能実習生送り出し機関、CJT Tを視察。日本で労働希望の人材を日本語スクールで6カ月間の語学・技能の研修を行い日本へ送り出している。日本の人手不足は熊本でも深刻なものになってきていて外国人の労働力は不可欠であり、農業・建設・介護・製造・サービス業の分野で助かっている。

建設常任委員会の管内視察

議員7名、土木部長他8名で左記を廻り現場視察を行いました。

- ① 中九州横断道路の合志市内、上生川と辻久保バイパスを跨ぐ上生川橋(全長79m)の下部工事。御代志交差点と須屋地区4車線化現場。
- ② 県道新山原水線現場
- ③ 西環状道路池ノ上地区現場
- ④ 熊本港ガントリークレーン設置現場



387号線上須屋高速下の4車線化工事

県政報告会

10月14日、ルイロ合志で県政報告会を開催。坂本哲志衆議院議員や自民県連女性局長の馬場摩利子局長、など120人が出席した。登壇した池永県議は、全国120万人の農業従事者が20年後には4分の1にまで激減するとの予測に、米農家の所得を上げなければ後継者が居なくなってしまうと危機感を伝え、更なる助成金等国に申し上げる事が自分達の責務との思いを示した。また渋滞問題と合志地区の道路行政を語った上で国の進める働き方改革の問題点に触れ、働き方改革の必要性を説いた。最後にTSMC関連の企業進出での水問題を提起し、「私は県と国に物申す議会人でありたい」と締めくくった。

(週刊政治レポート引用)



3月21日アンビー郵便局開局式典



地元の方々の要望により整備された堀川沿いの散歩コース

散歩が楽しくなりました！

熊本市議会定例会

議会は令和7年度知事提案の当初予算案8448億円を可決したうち「こどもまんなか熊本」の実現をはじめとする、県政発展に向けた取り組みに関する予算を計上

- I 子供たちが笑顔で育つ熊本 40億円
- II 世界に開かれた活力あふれる熊本 94億円
- III いつまでも続く豊かな熊本 14億円
- IV 県民の命、健康、安心、安全を守る 171億円



上記の予算詳細は左記QRコードより県のホームページをご覧ください

一般質問

今議会では県議は農業振興・景気対策など生活に密着している質疑を行う

「食のみやこ熊本県」を支える農業の振興について

菊池地域の土地は、工場用地や住宅用地として買い上げられており、地域の農地約164ヘクタールが別の用途に転用された。農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う耕作放棄地の増加も深刻だが、菊池地域の場合は半導体関連産業の集積に伴う企業進出が農地の減少に拍車をかけたということがあるのではないか。

知事は半導体関連企業の進出等に伴う農地減少に対しては、農地の確保や生産支援などの対策を進め、意欲ある農業者の営農継続を支援すると表明されている。熊本の農業を守り育て、担い手確保・育成についてどのように取り組んでいくのか、農林水産部長の見解をお聞きしたい。



7年2月セミコンテクノパーク西方面よりの風景

答

農林水産部長 県では啓発から相談・研修・就農・定着の各段階に応じて支援に取り組んでいる。木村知事からの担い手強化の指示を受け、若年層への魅力発信や「新しい熊本農業のリーダーズ共創事業」などを提案。また、4月から新たに「熊本県農業経営・就農支援センター」を発足する。国は親族間の継承においても施設や機械の修理、撤去費用が対象になる支援策を創設。県も上乗せ補助を行い、親元就農の支援を中心に支援策の拡充を図り、担い手確保育成を進めて参る。多様化する問題に迅速に対応していきたい。



社長を務める農家直売所「志来菜彩」

要望

円安による肥料や飼料の高騰が農業を圧迫している。異常気象や輸入依存のリスクを考慮すると、食料自給率の向上が急務である。構造改革として、農地整備やスマート農業の推進、収益の安定やコスト削減が必要だ。また、後継者を増やすために、新たな交付金制度の導入や農地保全の強化が求められるし、助成金の申請から交付までが長すぎるという声も聞く。県が一時負担して先払いできないか。等、農業支援の拡充を強く望むとともに、また我々消費者も地産地消を心掛ける事が必要だ。それが生産者を勇気づけ応援する事に繋がるのではないかと。



人手不足対策のロボット導入など省力化補助金について

質

この補助金は、中小企業や小規模事業者の人手不足対策や賃上げ支援策の一環として、補正予算で新たに事業化された。3年間の予定で募集を開始した新しいカタログ型補助金で、登録製品や対象業種が拡大されてきている。この補助金の存在をまだ把握していない企業や事業者も少なくない。県としてどのように周知を進めていくのか、また申請に必要な手順について、活用するための詳細を伺いたい。

答

商工労働部長 昨年6月の募集開始以降運用の改善は行われており、県HPの掲載やセミナー紹介などと、商工会経営指導員の事業者訪問などで周知を図っている。また県独自の支援策として上限200万、1/10の負担額引き下げなどの支援を行って後押ししている。



要望

人件費の高騰により人材の奪い合いに陥って、人手不足に陥っている。県内の多くの人口減少地域では、若者世代の人口流出により働き手そのものが居ない、あるいは不足している状況にあるのではないかと。補助金を活用しない経営者の方はこの機会に、商工会や市町村の窓口で事例について話を伺ったり、手続きの相談をして活用していただきたい。

物流拠点の整備について

質

九州高規格道路の建設により、熊本が九州の中心的な役割を担い、大分・宮崎との物流や人流が活発になることは確実だ。経済活性化が進む中、新規インターチェンジ建設を見越した物流拠点の整備は、交通の要衝として非常に重要な戦略と考えられ、物流

拠点の整備が不可欠だ。千葉県流山市に大規模な物流拠点が整備され、6,000人以上の雇用が生まれている事例をみると、熊本でも同様の物流拠点を構築することで、若年層の流出を防ぐ雇用創出や地域経済の発展に寄与する可能性が高い。県として国交省や関連省庁と協議し積極的に取り組むべきとの提言は、極めて重要な提案だと思いが、県はどのように考えるのかお聞きしたい。



千葉県流山市の物流拠点

答

企画振興部長 議員の言うとおり大きなポテンシャルがある。合志の2つのインターチェンジを軸とした地区も、九州を支え、ひいては世界へと繋がる物流のハブとなる可能性がある。民間の動きや国の検討会の議論を注視しながら物流拠点の在り方を検討して参る。

運転免許をめぐる県民の利便性向上について

質

本県では多くの県民がマイナンバーカードを保有し、健康保険証との一体化が進んでいる。さらに、3月24日から運転免許証との一体化が始まる。しかし、県民の中には制度の概要を十分に理解していない人も多いため、「マイナ免許証」のメリットや県警察の取り組みについて警察本部長に説明をいただきたい。また、県警察が1月から導入した運転免許手続の事前予約制について、その導入経緯や期待される効果も併せて説明していただきたい。

答

警察本部長 マイナ免許証のみのメリットとして住所変更の際に警察署での変更手続き不要の他、更新講習をオンラインで受講でき、更新手数料が安くなる。尚、県警ホームページ等を通じて県民への周知を行っているし、Webページでの更新手

続き予約を行っている、手続きに要する時間の短縮を図っている。



働き方改革関連法について

要望

2024年問題が議論され、2019年4月から働き方改革関連法が随時施行されてきたが、この法案で日本の商工業経営者は重大な影響を受けざるを得ない状況だ。特に深刻な人手不足の中、運送業や建築業では多大な影響を及ぼす。中小・零細企業の声を聞く機会を設け、軌道修正・微修正は適宜図らなければならぬのではと考える。県としても商工業における様々な角度から意見を丁寧に聞きながら、現在の働き方改革の課題を洗い出し、国に対して改善を要望するなど地域経済の維持・発展の為に取組みを継続して頂くよう要望としてお願いする。

ご挨拶

幸友会会長 宮原康晃

柔らかな日差しとともに、春の訪れを感じる今日この頃、皆様にはますますご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃より池永幸生の県政活動に対し多大なるご支援とご指導を賜り、心より御礼申し上げます。池永県議は現在、二期目の折り返し地点を迎え、より一層精力的に県政活動に取り組んでおります。昨年の県政報告会では、ご多忙にもかかわらず、多くの方々にご参集いただき、改めて深く感謝申し上げます。今後とも池永県議に対し、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。私ども幸友会も全力で支えてまいります。今年も皆様方にとって健康で平穏な一年となりますことを心より祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。